

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	岡山県	代表者名	伊原木 隆太
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部デジタル推進課
担当者役職	主事	担当者氏名	中野 孝一郎
住所	700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名(予定)	幹部職員向けDXセミナー
概要	本県では、岡山県DX推進指針を策定（R3.10月、R5.2月改訂）し、デジタル化に取り組んでいる。DXを進めるにあたり、アンテナの高い職員はDXに理解を示し、積極的にデジタル化・効率化に努めている一方で、決裁権を持つ幹部職員のDXに対する理解が乏しいため、組織体制や財政面での支援が少なく、通常業務もある各部局がDXの取組を行う余裕がない。そのため、まずは幹部職員に対し、DXの必要性を理解させるセミナーを企画し、全庁的に行う必要があることを理解させ、予算・組織面から各部局がDXに取り組みやすくすることで、行政サービスのDX化を進め、県民が使用するサービスのデジタル化や県内産業分野等へのデジタル化支援などを行えるようにし、県民サービスの向上を図る。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	12	令和6年5月28日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年5月23日	事前打合せ(オンライン)	14時00分	14時30分	
				活動時間(分)	30
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	関 治之
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	本県で実施していただくセミナーの打ち合わせがメインであったが、本県が提示した資料の他にアドバイザーからも内容について質問していただき、本県にない視点でセミナーの内容を検討することができた。また、人材育成の部分についても本県が課題に感じている内容に対して、他県の事例等を紹介いただき、知見を広げることができた。
アドバイザーへの要望事項	

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	3人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	3			
4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果					
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本県では、岡山県DX推進指針を策定（R3.10月、R5.2月改訂）し、デジタル化に取り組んでいる。DXを進めるにあたり、アンテナの高い職員はDXに理解を示し、積極的にデジタル化・効率化に努めている一方で、決裁権を持つ幹部職員のDXに対する理解が乏しいため、DXに取り組むための組織体制や効率的なサービスを導入するための財政面の支援などが少なく、通常業務もある各部局がDXの取組を行う余裕がない。また、DXについて、デジタルが苦手だから関係ない、DXはデジタル推進課の業務で自分たちが取り組むという意識が希薄である。組織の決定権を持つ幹部職員にDXに取り組む必要性について理解をしてもらい、庁内ないしは岡山県全体でDXに取り組む風土を醸成したい。				

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	DXを進めるにあたり、アンテナの高い職員はDXに理解を示し、積極的にデジタル化・効率化に努めている一方で、幹部職員のDXに対する理解が乏しいため、組織体制や財政面での支援が少なく、通常業務もある各部局がDXの取組を行う余裕がない。そのため、まずは幹部職員に対し、DXの必要性を理解させるセミナーを企画し、全庁的に行う必要があることを理解させ、各部局がDXに取り組みやすくすることで、県民サービスの向上を図る。 本講演はDX推進の動機付け→意識啓発→具体的な施策・事業立案の流れの中で、「意識啓発」に位置付けている。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	幹部向けDXセミナーの実施に向けて、研修の内容・対象者について協議を行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	協議の中で、アドバイザーからの質問により、新たな内容や経緯等より内容を深めることができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 事前打ち合わせのため、成果物はなし。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	事前打ち合わせのため特に無し。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのため無し。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	⑤その他
4-4. 事業の最終的な目指す姿	幹部職員のDXマインドセット醸成。それにより、県民の利便性を向上に繋がる各部局の行政のデジタル化の取組を令和7年度末に向けて加速させる。また、産業分野や暮らし分野を所管する部局においても、幹部職員のDXへの理解を深めることで、デジタル技術やデータを活用した新規事業の設定や市町村や産業分野への技術的な助言が行えるようにし、データ分析等を活用した地域経済の向上や県民生活に関係するデジタルサービスを向上させ、産業の競争力があり、生活のしやすい社会を構築する。	
5. 報告書に関しての地域情報アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

